



3月1日、伊勢原市は市制施行から50年を迎えました

歴史を継いで、次代へ進む



先人たちが築いた歴史を胸に、さらに前へ

本市は昭和46(1971)年3月1日に、県内15番目の市として誕生し、本日「半世紀」という節目を迎えることができました。

秀峰大山の麓に広がり、恵まれた自然環境や温暖な気候、交通アクセスの良さから首都圏近郊都市として発展し、当時4万5千人であった人口は10万人を超えるまでになりました。これまで、市の発展にご尽力いただきました皆さまに深く感謝

謝と敬意を表します。

昨年3月には待望の新東名高速道路伊勢原大山インターチェンジが開設されました。また、今年1月には同インターチェンジ周辺が市街化区域に編入され、約23・2ヘクタールについて、関係権利者の皆さまで構成される土地区画整理組合が設立されました。今後は国道246号バイパスの開通も計画されており、さらなる飛躍のチャンスが訪れます。その一方で、新型コロナウイルス感染症に関しては、終息が見通せない

令和3年3月1日 伊勢原市長 高山 松太郎

い状況が続いています。しかし、必ずこの危機を乗り越える日はやってきます。市としても一日も早く、皆さまの平穏な日常を取り戻せるよう全力で取り組んでいく所存です。

今日のこの日は、夢と希望を次世代につなげていくための新たなスタート地点です。誰もが未来に期待し、市民としての誇りを持ち、安心して暮らし続けることができる「しあわせ創造都市いせはら」を目指して、今後もまちづくりに取り組んでまいります。

田中地区には、現在の市庁舎が完成した昭和52(1977)年に配られたハクモクレンの記念樹(当時は約30センチメートルの苗木)があります。その前に立つのは、市制施行40周年に当たる平成23(2011)年に市内で生まれた子どもたちです。「先の見えない世の中といわれることもあります。それでも僕は前に向かっていきたい。周りの人への感謝を忘れず、この木のように大きく成長します」と伊勢原小学校3年生の小泉さんは力強く話します。今では15メートルを超え、青天に向かって伸びるハクモクレン。この大木のごとく、伊勢原の大地で若き力は培われ、次の時代を切り拓いて進みます。

▼50年前に、市が神奈川新聞のテレビ番組欄下に掲載した市制施行記念広告を紹介します(提供 神奈川新聞社)

3月1日 伊勢原は大きくなりました

本日、県下15番目「伊勢原市」として スタートします。

市制への歩み

昭和29	12	伊勢原町、大山町、高橋町、比佐町、成瀬町、大田村の3町4村を合併し、新設された伊勢原町。	昭和40	1	伊勢原町を市制施行。
30	4	新設された伊勢原町に、旧伊勢原町、旧大山町、旧高橋町、旧比佐町、旧成瀬町、旧大田村の6町を合併し、新設された伊勢原市。	41	3	伊勢原市を市制施行。
31	1	伊勢原市を市制施行。	42	4	伊勢原市を市制施行。
32	1	伊勢原市を市制施行。	43	4	伊勢原市を市制施行。
33	3	伊勢原市を市制施行。	44	3	伊勢原市を市制施行。
34	7	伊勢原市を市制施行。	45	3	伊勢原市を市制施行。
35	1	伊勢原市を市制施行。	46	3	伊勢原市を市制施行。
36	1	伊勢原市を市制施行。	47	3	伊勢原市を市制施行。
37	3	伊勢原市を市制施行。	48	3	伊勢原市を市制施行。
38	8	伊勢原市を市制施行。	49	3	伊勢原市を市制施行。
39	8	伊勢原市を市制施行。	50	3	伊勢原市を市制施行。



伊勢原市の誕生にあたって

きょう、ここに限りない可能性と躍動を秘め、新たな希望に満ちて伊勢原市の歴史に第一ページを飾ることにいたしました。

かえりみると古い歴史と伝統に誇る。伊勢原は、昭和二十九年二月六日町制が合併して伊勢原町として誕生。ここに十六年、以来わが町は、地理的好条件と市民各位による郷土愛とのよき調和のもとに着実に発展を続けてまいりました。

この間、市民各位をはじめ先聖諸氏の英知とご努力が積み重ねられ今日の伊勢原市を築いたものであります。ここに深まる感謝と敬意を捧げるものであります。

新設伊勢原市。の誕生にあたり、名実ともに風格と調和のとれた近代的な都市づくりを進めるためには、市民各位のご理解と積極的な市政参画のもとに長期的展望にたつて将来の大伊勢原市を築きあげなければなりません。それには、基本的に、一、首都圏近郊住宅地帯としての発展。二、内陸工業地帯としての土地利用の整備。三、商業圏の拡充と天守の観光資源の開発。これら三本の柱を軸として、風格ある都市づくりを進め、その市政のなかには市民福祉の向上を前提とした都市的施設の整備・教育文化の向上さらには丹沢大山国定公園を背景とした緑の保存と都市近郊農業地域の特性ある近代農業を調和をはかりながら、躍進する伊勢原市。の無限な可能性を追求してまいりたいと存じます。

そして、一日も早く、さらに「明るい・住みよい・豊かな伊勢原市」の実現をめざして全力を傾注する覚悟であります。

市民となられたみなさんをはじめ関係各位の一層のご指導とご支援をお願ひ申し上げます。

昭和四十六年三月一日 伊勢原市長 浜田 好一